▶ 人材開発委員会

信州未来アプリコンテスト0

信州未来アプリコンテストZEROが12月9日（土）に「地域を元気にするアプリ」をテーマに、募集して選考いたしました。
近年、人口減少等の問題により日本の地方では様々な課題が出てきています。皆さんの日々の暮らしの中においても、地方の暮らしに対する課題を感じている方も多いでしょう。そこで今年度のテーマは、「地域を元気にするアプリ」にしました。あなたが住む地域の人々が活き活きとしている姿を想像し、その姿の実現に役立つアプリのアイデアを募集します。みなさんからの楽しく、面白く、ワクワクするような提案をお待ちしております。
地方を元気にするための新たな一歩、一緒に切り開いていきましょう。
という募集テーマに県内はもちろん全国から多数の応募がありました。
当協会も後援であると共に審査員として参加いたしました。

【審査結果】

最優秀賞（全部門を通じて最も優秀な発表者）
ごまごま団（菅野中学校1年）
「信州マスター」

U15優秀賞（U15部門で最も優秀な発表者）
水留駿（暁星中学校3年）
「手話カメラ」

U29優秀賞（U29部門で最も優秀な発表者）
推しの小。（信州大学大学院1年）
「あっ！とマーク」

審査員特別賞
西浦 滉希（飯田市立山本小学校5年）
「飯田市を旅するゲーム」

KDDI賞 U15部門
三澤 康太郎（横浜市立西寺尾第二小学校3年）
「数学牢獄からの脱出」

KDDI賞 U29部門
Raise（トライデントコンピュータ専門学校2年）
「LiterAI」

abn賞
推しの小。（信州大学大学院1年）
「あっ！とマーク」

起業家甲子園出場挑戦権獲得
TANAKA Lab（長野大学 3年）
「Make Studio」

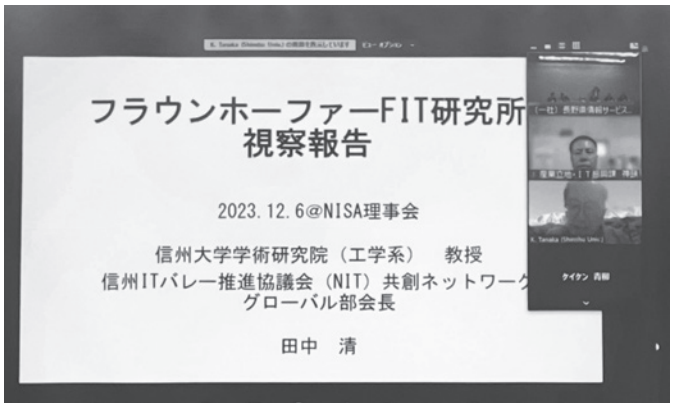
▶ 対外交流委員会

「IPAひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2023

当コンクールは、本年度より情報セキュリティを子どもたちが考える場としてより機能させるべく、「ひろげよう情報セキュリティコンクール」と事業名称を変更しての開催となりました。
恒例どおりIPA主催の下、外部表彰団体として長野県警、長野県インターネットプロバイダ防犯連絡協議会、長野県青少年インターネット適正利用推進協議会、並びに当協会が協賛して作品表彰を実施いたしました。
従前の標語・ポスター・4コマ漫画の３部門に、今回より活動事例の部門が追加され、４部門での表彰となりました。
受賞作品については、1月中旬頃の発表予定で、受賞者には当協会から賞状と副賞が贈呈され、各学校ごとに表彰が行われる予定です。

信大副学長田中清教授によるフラウンホーファー応用情報技術研究所のご紹介（Online）

12月6日の理事会終了後、信大副学長田中清教授によるフラウンホーファー応用情報技術研究所のご紹介がＯｎｌｉｎｅで開催されました。
2021年6月30日、ドイツで初めての信州大学サテライトオフィスが、フラウンホーファー応用情報技術研究所（FIT）に開設され、この連携強化の目的は、両機関の協業にとどまらず、両国における産業界や地域の発展のため、先端技術や知識を共有することにより、課題解決に導くことです。
信州大学のサテライトオフィスは、長野県・信州ITバレー構想をはじめとする長野県の取り組みとAI・IoT技術の実践現場への展開における日本・長野県・SMEs（中小企業）とドイツの間のネットワークづくりを狙いとしたものです。
県内企業と、ドイツのデュッセルドルフ地域の中小企業等の取り組みを結びつける上で、ハブとして重要な役割を果たしていきます。



システムを創造し、ユーザーと共に歩む。
システムを創造し、ユーザーと共に歩む
株式会社システックス
各種システム開発・パッケージソリューション・
クラウドシステム開発・データ分析・AI
■本社／長野市岡田町78-11 TEL(026)226-7277
■支社／松本、東京、名古屋